

只見の雪を活用・JR只見線臨時列車をおもてなし

# 「第3回只見雪むるまつり」開催！



▲多くの方が訪れた会場

—只見雪むるまつり—

只見町雪むる実行委員会が主催する「第3回只見雪むるまつり」が6月18日、JR只見駅前広場で開催され、約300名が来場しました。

雪むろは、今年2月に行われた「只見ふるさと雪まつり」の雪像に使われた雪を再利用し、雪まつりの入場門付近に作られました。雪むろの中には、日本酒「岩泉」、「泉太のどぶろく」、米焼酎「ねっか」、米、味噌、野菜などを約3ヶ月間貯蔵し、貯蔵品は雪むろまつり前の6月14日に取り出されました。

開会式では、実行委員会の吉津年浩会長が「約3ヶ月間雪むろで寝かせた味を堪能して欲しい」と挨拶し、菅家町長が「只見の特徴である雪を活用したこのイベントは地域振興を図る上で重要であり、益々の発展を期待します」と祝辞を述べました。





▲大凧を上げる三条凧協会の皆さん



▲快速「只見線山菜満喫号」と新潟県在住の1日子ども車掌の皆さん



▲バルーンアートを披露するピエロのナナさん



▲雪むろ貯蔵の酒・野菜などを振る舞う実行委員会の皆さん



▲子どもたちに大人気だった除雪車試乗体験



▲弾き語りを披露した只見中学校3年「渡部美依」さんのライブ

新潟駅と只見駅間を走る臨時列車・快速「只見線山菜満喫号」が6月17〜18日の2日間運行され、只見駅でもてなしが行われました。おもてなしは、町観光まちづくり協会や商工会、季の郷湯ら里、町観光商工課が実施し、甘酒・どぶろく・山菜汁の振る舞いや抽選会、町の名所の周遊やわらび折りが体験できるタクシープランなどが用意され、乗客の人気を集めました。18日は雪むろまつりも楽しむことができ、利用者は只見町を満喫することができました。

まつりでは、貯蔵品の振る舞いや販売の他、新潟県三条凧協会の皆さんによる凧上げ、ピエロのナナさんによるバルーンアート、アコースティックライブ、かき氷早食い大会、寄席、宝生流只見謡曲研究会松楓会の皆さんによる謡、除雪車試乗体験など多くの催しが行われました。また、会場には近隣市町村から多くのキッチンカーも並び、来場者は多彩な催しと味を堪能しました。

— 快速「只見線山菜満喫号」  
おもてなし！ —